

＜IFLA LRM 読解シリーズ＞のコーナー開設について

日本図書館研究会情報組織化研究グループは、2017年8月に国際図書館連盟(IFLA)の専門委員会により承認され公表された書誌情報全般に関する概念モデル IFLA Library Reference Model (IFLA LRM) の邦訳版『IFLA 図書館参照モデル』(樹村房 2019年刊)を教材として、2020年7月11日から2021年1月31日まで、月1回、オンライン(ZOOM)による勉強会を7回開催した。各回の内容と報告担当者は次のとおりであった。

- 第1回 (2020.7.11) 「訳者まえがき」 和中幹雄、「第1章 序章」 田窪直規
- 第2回 (2020.8.22) 「第2章 方法」 福田一史、「第3章 利用者と利用者タスク」 今野創祐
- 第3回 (2020.9.26) 「第4章 モデル定義」「4.1 実体」 荒木のりこ、高久雅生
- 第4回 (2020.10.24) 「第4章 モデル定義」「4.2 属性」 江草由佳
- 第5回 (2020.11.07) 「第4章 モデル定義」「4.3 関連」 千葉孝一
- 第6回 (2020.12.19) 「第5章 モデルの概観」 千葉孝一
- 第7回 (2021.1.30) 「第6章 利用者タスクと実体、属性、関連との対応」 和中幹雄

この勉強会ではさまざまな疑問や意見が出され議論された。本誌では、「IFLA LRM 読解シリーズ」のコーナーを設け、それらの疑問や意見を提出し合い議論する場としたい。勉強会参加者か否かを問わず、皆様の投稿をお待ちする。

『メタデータ評論』編集委員会